

## 第9回、第10回の推進会議の意見

※例えば、( )内の9-1とは、第9回の会議にて1班から出された意見。枝番号がない場合は、グループ報告後に頂いた意見。

施策目標	基本事業	ご意見
1 子どもの権利を尊重します	(1)子どもの権利の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの権利条約について、知らないと回答された方が多い一方で、権利はある程度尊重しているという結果となっていることから、どうやって周知していくかが課題となっている。(9-1)</li> <li>• 子どもの権利として大切なこととして、保護者と子ども本人が考えていることが異なっているという点、子どもの権利尊重に当たり心がけたいことや大人に心がけてほしいことについて、保護者と子ども本人が考えていることが異なっている点も印象的である。(9-1)</li> <li>• 子どもの権利については、アンケートを行ったことで、興味を持ちましたとか、職場で話し合ったといった意見があった。アンケートを行ったことで普及啓発につながった部分もある。ただし、認知度がなかなか上がっていかないという点で、もう少し違う伝え方が必要ではないか。「権利」という言葉も、「義務」との関係などから受け入れにくいこともあるため、周知には工夫が必要。子ども自身にも分かりやすいキーワードとか、関心を持てるワードというのに置き換えるというのは意味があることではないか。(10-1)</li> <li>• 今ウドラ夢たち基金等で参加する権利の場所を設けているつもりだが、例えば何らかの形で子どもから学校現場への不満みたいなものを出せるところがあったらいいのではないか。(10)</li> </ul>
2 ひとりひとりに応じた〈子育て〉を支援します	(1)地域における子どもの居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子ども本人に対する設問で、「あったらいいな」という場所について、子ども本人はゲームやインターネットができる部屋などを挙げているものの、これは大人が提供したいものとは差があるのではないか。居場所を提供する際は、世代別、地域別にニーズを十分に調べた上で実施する必要があるだろう。(9-1)</li> <li>• 居場所については、外ではなく、インドアを希望する意見がアンケートでは多い。(9-2)</li> <li>• 放課後の子どもたちの過ごし方については、特別支援の子どもたちが入っていないのではないかと話になった。彼らの状況を考えると、このアンケート結果とは違ったものがでてくるのではないかと。自由記述もふくめて引き続きみていきたい。(9-3)</li> <li>• 放課後子ども教室なども、地域差があったりとかするため、学校教育にどのように地域の方が入っていったり、コミュニティスクールをどうやっていくかというところを今後考えていく必要がある。(10-1)</li> <li>• 児童館に入るのに対してカードがないと入れない、カードをなくしてほしいという自由意見については、児童館によって異なるのかという意見があった。(10-3)</li> <li>• 地域とのつながりを深めるために、子ども食堂への補助を充実させたらいいのではないかと。また、子ども食堂のやり方として、持ち寄り式の子ども食堂もいいのではないかと。(10-3)</li> </ul>

施策目標	基本事業	ご意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの居場所については、立川市内でも地域の差がすごくあるということがこの自由意見の中でもわかる。例えば、青少圏だと12地区だが、児童館は8館しかない。(10-2)</li> <li>• 子育て広場とか、未来パークだとか、プログラムなどが決められたところではなく、みんな自分が好きな時に自由に入ったりできるところ、そういった場所が近くにあるとよい。自由意見では、室内で遊べる場所が欲しいなというのがすごく多いという印象を受けた。なお、たまがわ・みらいパークは、可能な範囲で開放している。(10-2)</li> <li>• ポールを（公園で）使うことを禁ずる公園が多いが、ルールを大人もしっかりと理解した上で、子どもたちにも説明する必要がある。(10-2)</li> </ul>
	(2) 青少年の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SNS でやりとりをしていて知らない人に会ったことがある、という人が思った以上に多いことや、それほど突出して多いわけではないが、ご飯をひとりで食べている人が一定数いる、アルバイト代を家庭に入れる子がいる、といったことも印象的である。(9-3)</li> <li>• 引きこもりの子も人それぞれ違うとは思いますが、引きこもりになった時に、親がヘルプにつなげられるものがあるとありがたい。(10)</li> <li>• 若者支援については、一つひとつの事業では多分カバーしきれないものがあるって、何らかの所管部署を作るとか、もう少し大きな制度を必要があるかもしれない。(10)</li> </ul>
3 ひとりひとりに応じた学びを支援します	(1) “生きる力”を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 給食については、子どもの権利の「育つ権利」という面から、食育という面で考えていかなければいけない。(10)</li> </ul>
	(2) 地域との連携による学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アンケートの自由意見で、外部講師による暴言について意見があるが、これについても地域との連携で、子どもの権利の視点で物事を考えていただきたい。(10-2)</li> <li>• 地域における安心な場所ということで、今度、子ども110番のステッカーが変わるとのこと。周知が必要。(10-2)</li> </ul>
4 ひとつひとつの家庭に応じた〈子育て〉を支援します	(1) 母と子どもの健康支援	
	(2) 家庭における子育てへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファミリーサポートの活動件数が減ってきているが、小さい子どもたちにとっては大事な場所であるため、もう少し見ていく必要がある。(10-2)</li> </ul>
	(3) 子育てと仕事の両立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アンケート結果によると、未就学児において「一時預かり」や「病児保育」に預けたいと思わない、という回答が多かったが、これは実際と乖離しているのではないかと。本当は預けたいが、混んでいてとれない、利用料金が安い、めんどくさい、といった理由で預けることができないのではないかと、という意見があった。(9-2)</li> </ul>
5 配慮を必要とす	(1) 途切れのない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 夢たちのブックの中でも、障害を有する児童についての内容が反映されていない。障害に対しての否定的なイメージ</li> </ul>

施策目標	基本事業	ご意見
<p>子どもや家庭を支援します</p>	<p>成長支援</p>	<p>がどうしてもあることから、支援を拒む保護者もいる。(10-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達支援について療育施設がない。例えば、日野にはエールという施設があって、ODとかSTとかをやっている。立川の子どもたちは、東村山にある施設に行く必要がある。発達支援計画は立川市でも出ていると思うが…。(10-3)</li> </ul>
	<p>(2) 特別な配慮を必要とする家庭への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親家庭における養育費の受け取り状況については、例えば、明石市で、市が養育費の受け取りを保障する制度が始まったらしいので、市でできることがあるならば、応援することができないだろうかという話になった。(9-3)</li> <li>親が離婚して、父親が祖父母に任せたりで帰ってこない。こういう場合、例えば子ども食堂などにつながって、少しでもケアができればよい。(10-3)</li> <li>最近増えつつある外国籍の子に対してのケアの充実。他市だと、例えば卒業生の保護者がボランティアでやってくださっているとか、そういうサポートの方法もあるそうなので、検討していきたい。(10-3)</li> </ul>
<p>6 地域のあらゆる構成員が連携・協力して事業を推進します</p>	<p>(1) 協働による事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の担い手については、町会や自治会の担い手の高齢化が進んでいる中でどういう形で確保するかが課題である。企業に関わりをもっと持って頂けるような仕組みができればよいのではないか。(9-1)</li> <li>協働については、言葉がまだ浸透していないのか、実際にやっていることはあると思うが、(アンケートの)自由記述から読み取れる部分が限られている。もう少し書きやすいような設問とかがあるともう意見がでてきたかもしれない。(10-1)</li> </ul>